

(1) 中間財務諸表等

中間貸借対照表

(単 位 : 百万円)

科 目	1 4 年 9 月中間期 (平成14年9月30日)	1 3 年 9 月中間期 (平成13年9月30日)	1 4 年 3 月期 (平成14年3月31日)
(資 産 の 部)			
流 動 資 産	25,212	28,053	26,797
現金及び預金	7,220	7,495	7,827
受取手形	940	1,637	1,347
売掛金	12,542	12,334	12,644
自己株式	-	0	-
製品	194	142	139
原材料	294	292	321
仕掛品	2,409	2,603	2,488
短期貸付金	2,355	4,171	2,682
未収入金	284	2,120	490
繰延税金資産	69	64	54
その他	148	111	91
貸倒引当金	1,246	2,921	1,289
固 定 資 産	26,741	29,944	26,919
有 形 固 定 資 産	8,980	9,611	9,056
建物	2,675	2,960	2,698
構築物	83	93	84
機械装置	2,554	2,854	2,627
車両運搬具	2	3	2
工具器具備品	227	274	256
土地	3,373	3,426	3,386
建設仮勘定	63	-	-
無 形 固 定 資 産	18	20	19
投 資 等	17,741	20,312	17,843
子会社株式	10,582	10,600	10,796
投資有価証券	552	395	557
長期貸付金	9,791	8,359	9,513
繰延税金資産	2,707	2,306	2,651
その他	2,303	4,488	2,585
貸倒引当金	8,195	5,838	8,261
繰 延 資 産	2	6	4
資 産 合 計	51,956	58,004	53,721

(単位：百万円)

科 目	14年9月中間期 (平成14年9月30日)	13年9月中間期 (平成13年9月30日)	14年3月期 (平成14年3月31日)
(負債の部)			
流動負債	29,570	30,889	30,739
支払手形	3,169	3,521	3,190
買掛金	4,507	4,818	4,829
短期借入金	21,019	21,640	21,873
未払金	368	464	389
未払税金	12	12	23
未払費用	188	220	201
賞与引当金	242	155	157
その他	60	56	73
固定負債	13,858	15,069	14,342
長期借入金	10,767	12,524	11,624
再評価に係る繰延税金負債	371	380	371
退職給付引当金	2,490	1,901	2,109
その他	228	262	237
負債合計	43,428	45,959	45,081
(資本の部)			
資本金	12,669	12,669	12,669
資本剰余金	538	538	538
資本準備金	538	538	538
利益剰余金	5,210	1,714	5,122
中間(当期)未処理損失	5,210	1,714	5,122
土地再評価差額金	519	531	518
その他有価証券評価差額金	16	19	38
自己株式	5		2
資本合計	8,527	12,045	8,640
負債及び資本合計	51,956	58,004	53,721

中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	14年9月中間期 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成14年9月30日〕	13年9月中間期 〔自平成13年4月1日〕 〔至平成13年9月30日〕	14年3月期 〔自平成13年4月1日〕 〔至平成14年3月31日〕
(経常損益の部)			
営業損益の部			
営業収益	17,019	17,563	33,816
売上高	17,019	17,563	33,816
営業費用	16,456	17,282	33,214
売上原価	14,718	15,385	29,403
販売費及び一般管理費	1,737	1,896	3,811
営業利益	563	281	602
営業外損益の部			
営業外収益	303	286	985
受取利息及び配当金	69	44	326
為替差益	-	15	188
その他	233	225	471
営業外費用	747	665	1,297
支払利息	384	383	759
為替差損	129	-	-
その他	233	281	537
経常損失	-	98	-
経常利益	119	-	290
特別利益	116	333	344
特別損失	364	1,039	5,181
税引前中間(当期)損失	129	804	4,546
法人税等	13	12	24
法人税等調整額	55	154	177
中間(当期)損失	86	971	4,393
前期繰越損失	5,122	742	742
土地再評価差額金取崩額	1	-	13
中間(当期)未処理損失	5,210	1,714	5,122

(注)

1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 中間財務諸表作成の基本となる重要な事項

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- 1) 原材料及び貯蔵品は、先入先出法による原価法を採用しております。
- 2) 製品及び仕掛品は、総平均法による原価法を採用しております。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

- 1) 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法
- 2) その他有価証券
 - 時価のあるもの 中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算出しております。）
 - 時価のないもの 移動平均法による原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

- 有形固定資産 定率法
- 無形固定資産 定額法

ただし、取得価額10万円以上20万円未満の有形固定資産については、事業年度ごとに一括して3年間で均等償却する方法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

- 建 物 6 ~ 50年
- 機 械 装 置 2 ~ 9年

(4) 重要な引当金の計上方法

- 1) 貸倒引当金
 - 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- 2) 賞与引当金
 - 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当中間期の負担額を計上しております。
- 3) 退職給付引当金
 - 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間期末において発生していると認められる額を計上しております。
 - なお、会計基準変更時差異は15年による均等額を費用処理しており、過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しており、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定率法により発生翌事業年度から費用処理することとしております。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(6) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

3. 中間貸借対照表関係

	当中間期	前中間期	前 期
(1) 子会社に対する短期金銭債権	5,135 百万円	7,091 百万円	5,264 百万円
(2) 子会社に対する長期金銭債権	9,654	8,929	9,379
(3) 子会社に対する短期金銭債務	2,855	3,115	3,087
(4) 有形固定資産の減価償却累計額	22,502	22,999	22,152
(5) 外 貨 建 資 産 子 会 社 株 式	6,920	7,744	7,133
そ の 他	4,020	2,603	2,684
(6) 外 貨 建 負 債 買 掛 金	54	20	34
そ の 他	10	4	7
(7) 担 保 資 産	7,253	7,828	7,264
(8) 保 証 債 務 残 高	1,824	2,173	2,078
(9) 受取手形に含まれている中間期末(期末)日満期手形	-	155	97
(10) 商法第290条第1項第6号に規定する増加純資産額	16	19	38

4. 中間損益計算書関係

	当中間期	前中間期	前 期
(1) 1株当たり中間(当期)利益	1.04 円	11.61 円	52.49 円
(2) 子会社に対する売上高	2,149 百万円	1,559 百万円	3,407 百万円
(3) 子会社からの仕入高及び支払外注加工費	5,515	5,849	11,108
(4) 子会社との営業取引以外の取引高	資産購入高 75 そ の 他 308	49 548	86 615

(5) 特別損益の部の主な内訳

	当中間期	前中間期	前 期
特別利益	貸倒引当金取崩額 108百万円	投資有価証券売却益 290百万円	投資有価証券売却益 290百万円 貸倒引当金取崩額 37
特別損失	子会社株式評価損 213百万円 その他の投資評価損 115	貸倒引当金繰入額 975百万円	貸倒引当金繰入額 2,804百万円 子会社株式評価損 1,033 その他の投資評価損 1,027 固定資産除売却損 248

5. 追加情報

前中間期において資産の部に計上していた「自己株式」(流動資産)は、商法の改正により当中間期末においては資本の部の末尾に計上しております。

(2) 受注及び販売の状況

受 注 高

(単位：数量 百万個、金額 百万円)

品 種	14年9月中間期(14.4~14.9)		13年9月中間期(13.4~13.9)		14年3月期(13.4~14.3)	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
モジュール製品	4	4,772	4	5,506	10	10,500
電子デバイス	13	1,483	10	1,185	19	2,325
非直線素子	139	3,864	119	3,602	252	7,461
抵抗器	12,170	4,969	8,363	4,325	17,917	8,710
その他	151	1,932	135	1,863	248	3,691
計	12,480	17,022	8,633	16,482	18,449	32,689

受 注 残 高

(単位：数量 百万個、金額 百万円)

品 種	14年9月中間期(14.9.30)		13年9月中間期(13.9.30)		14年3月期(14.3.31)	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
モジュール製品	0	908	0	833	0	882
電子デバイス	4	395	3	469	2	345
非直線素子	19	395	13	333	14	431
抵抗器	1,265	727	1,343	865	1,366	804
その他	0	168	0	136	0	128
計	1,291	2,596	1,362	2,638	1,384	2,592

販 売 高

(単位：数量 百万個、金額 百万円)

品 種	14年9月中間期(14.4~14.9)			13年9月中間期(13.4~13.9)			14年3月期(13.4~14.3)		
	数 量	金 額	構成比	数 量	金 額	構成比	数 量	金 額	構成比
モジュール製品	4	4,746	27.9%	4	5,774	32.9%	10	10,719	31.7%
電子デバイス	11	1,433	8.4	14	1,592	9.1	24	2,857	8.4
非直線素子	134	3,899	22.9	126	3,871	22.0	258	7,632	22.6
抵抗器	12,271	5,046	29.7	8,356	4,471	25.4	17,889	8,917	26.4
その他	151	1,892	11.1	135	1,854	10.6	248	3,690	10.9
計	12,573	17,019	100.0	8,638	17,563	100.0	18,431	33,816	100.0

(注)販売高のうち、輸出額の割合は、14年9月中間期32.3%、13年9月中間期29.0%、14年3月期31.1%であります。